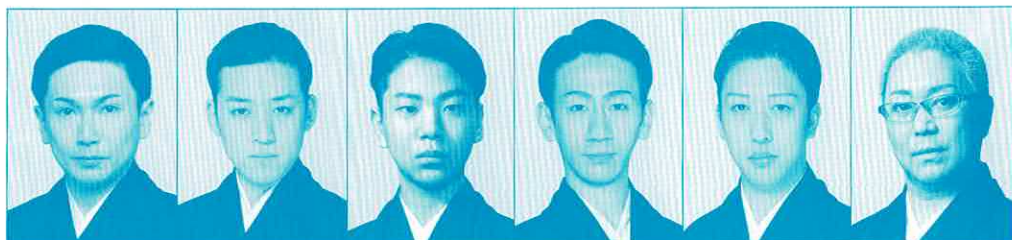


松竹大歌舞伎

令和五年度
（公社）全国公立文化施設協会 主催
東コース

製作
松竹



ばんどうかめぞう 坂東亀蔵 なかむらまんたろう 中村萬太郎 おのえさこん 尾上左近 ばんどうしんご 坂東新悟 なかむらばいし 中村梅枝 おのえしょうろく 尾上松緑

一、菊 鬼一法眼三略巻

吉岡 鬼一法眼
実 智恵三内 (Aプロ)
奴 吉岡鬼三太 (Bプロ)
笠原 湛海
皆 鶴姫
奴 虎藏
実 源牛若丸

尾上 東松
中村 萬亀
坂東 左太郎
村東 新悟
尾上 松緑
中村 萬亀
坂東 左太郎
村東 新悟
尾上 松緑

二、焔 一幕

平家全盛の時代。舞台になっている兵法学者・吉岡鬼一法眼の館の庭は、今を盛りと見事に菊が咲き誇っています。かつて源氏に仕えていた吉岡三兄弟の長兄である鬼一は、今は平家に仕えています。その鬼一の館に奉公している奴の智恵内は、実は鬼一の弟鬼三太で秘藏の虎の巻を手に入れるために姿を変えて、敵方の平家に与する兄の真意を探っています。主君である牛若丸もまた、平家討伐の大望を抱きつつ、虎藏という奴に身をやつし、この館に奉公をしています。鬼一の娘・皆鶴姫は以前から、虎藏に一途な恋心を寄せていましたが、二人の素性を知ってしまい……。

時代物の浄瑠璃の『鬼一法眼三略巻』は、享保十六（一七三二）年九月、大坂の竹本座で初演、後に歌舞伎に移入されました。全五段の内、『菊焔』の通称で知られる本作は三段目にあたります。本名題にある「三略巻」とは、中国の兵法書『六韜』『三略』を指したもので、その中には、所謂、「虎の巻」である「虎韜」が含まれており、この「虎の巻」が物語の展開で重要な役割を果たしています。満開の菊焔を背景に、歌舞伎ならではの様々な役柄が登場する華やかな一幕です。

三、新古今劇十種の内土蜘蛛

河竹黙阿弥 作

蜘蛛

長唄囃子連中

初代花柳壽輔 振付

叡山の僧智籌
実 土蜘蛛の精
源 頼光
渡辺 源次綱
坂田 公時
侍 女胡蝶
平井 保昌

尾上 松緑
中村 梅枝
中村 萬太郎
尾上 左近
坂東 新悟
坂東 亀蔵

時は平安時代。病床に伏せる源頼光の館。家臣の平井保昌が見舞いに訪れ、薬を届けに来た侍女胡蝶が紅葉の名所の様子を物語るの、頼光はしばし癒されています。しかし夜が更け、再び胸苦しさを感ずる頼光のもとへ智籌と名乗る叡山の僧が忽然と姿を現します。智籌は病氣平癒の祈禱を申し出ますが……。

明治十四（一八八二）年六月、河竹黙阿弥の作詞、三世杵屋正治郎の作曲、初代花柳壽輔の振付により、三世尾上菊五郎の三十三回忌追善狂言として五世菊五郎によって新富座で初演され、後に菊五郎家の家芸「新古今劇十種」の一つに選定されました。謡曲の「土蜘蛛」を素材とした舞踊劇で、能舞台を模した松羽目物の大曲の一つとして繰り返し上演されています。僧智籌が醸し出す妖しさと頼光が見せる品格の対峙、本性を現した智籌が千筋の糸を繰り出す華麗な立廻りに目を奪われます。重厚でありながら変化に富んだ舞台をご堪能ください。

◎『菊焔』出演配役について 【Aプロ】初日より7月15日(土)まで 【Bプロ】7月16日(日)から千歳楽まで

◆公演日程

※公文協主催公演

※6/30 金	神奈川県鎌倉市	鎌倉芸術館
※7/1 土	東京都八王子市	八王子市芸術文化会館 いちようホール 大ホール
※2 日	東京都江戸川区	江戸川区総合文化センター
5 水	北海道札幌市	札幌文化芸術劇場hitaru
※8 土	秋田県鹿角郡	明治の芝居小屋「康楽館」
※9 日		
※10 月	山形県山形市	山形市民会館

※12 水	栃木県宇都宮市	栃木県総合文化センター
※13 木	埼玉県越谷市	サンシティ越谷市民ホール(越谷コミュニティセンター)
※15 土	宮城県仙台市	東京エレクトロンホール宮城
※16 日	東京都北区	北とびあ さくらホール
※17 月	静岡県静岡市	静岡市民文化会館
※19 水	東京都立川市	たましんRISURUホール(立川市市民会館)
※20 木	長野県上田市	サントミュージゼ(上田市文化交流芸術センター)

※22 土	石川県小松市	石川県小松市團十郎芸術劇場うらら
※23 日	福井県敦賀市	敦賀市民文化センター
※25 火	岐阜県関市	関市文化会館
※26 水	兵庫県赤穂市	赤穂市文化会館(赤穂化成ハーモニーホール)
※28 金	広島県福山市	ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ
29 土	岡山県岡山市	岡山市市民会館
※30 日	愛知県春日井市	春日井市民会館
※31 月	愛知県豊橋市	穂の国とよはし芸術劇場PLAT